

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	681012	事務事業名	徳山駅周辺整備事業			
担当部・課名	中心市街地整備部・中心市街地整備課	評価者(課長)	野村 正純	評価責任者(部長)	重岡 伸明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	700501	分野	7産業・観光	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5中心市街地の賑わいの創出			補助・単独の別	補助
	推進施策	(1)徳山駅周辺整備事業の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	徳山駅周辺	事業の目的(意図)	快適で利便性の高い駅周辺にするとともに、都市の拠点づくりを行い中心市街地活性化につながる。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮した、すべての人に快適で利便性の高い駅周辺の整備 ●南口駅前広場の整備(H28～32) ●北口駅前広場の整備(H29～31) 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	～H26南北の交流人口 H27～街なかの歩行者等通行量	～H26南北通路の通行量 H27～主要14地点の歩行者等通行量(H31目標28,800人)	%	目標値	28,000.0	28,000.0	28,400.0
			実績値	24,318.0	33,268.0		
			達成度(%)	86.9%	118.8%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,391,706	2,425,795	493,240	279,889
	うち一財	千円	183,148	362,268	58,029	22,665	29,700
(決算額)	直接事業費	千円	1,031,482	2,843,665		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	152,598	419,910		事業の進捗や工事内容によるもの	事業の進捗や工事内容によるもの
	正職員人件費	千円	37,368	32,419			
	人工数	人	5.10	4.40			
	支出コスト	千円	決) 1,068,850	決) 2,876,084			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H22:都市計画決定告示、JRと基本協定及び工事協定締結 H23～H26:南北自由通路及び橋上駅舎化工事 H25～H27:区画道路整備、駐輪場整備、新駅ビル基本設計・実施設計・解体工事 H27～H29:新駅ビル建築工事	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 北口広場の整備にあたり、十分な現場管理、安全対策に留意し、駅周辺利用者へ配慮しつつ着実に実施する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	本事業は、駅周辺の重要な基盤整備で、賑わいの核施設となる賑わい交流施設整備事業については、平成29年度に終了した。開館を契機に、商店街においても中心市街地の再生に向けた取組みが更に盛んとなっており、事業の早期完成を目指し推進していく必要がある。	評価責任者コメント	徳山駅周辺整備事業は、周南市の重要なプロジェクトであり、南北の駅前広場の整備を早期に実現し、市民の利便性を向上させるとともに中心市街地の活性化につなげていく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
北口駅前広場の実施設計において、修景のための水路を計画していたが、イニシャルコスト及びランニングコストを抑制するため水路の整備を取りやめた。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	南口駅前広場の整備	南口駅前広場の再整備を行い、ゆとりのある空間の整備と交通の円滑化を図る	工事発注・監理、補助金対応、JR・関係機関との調整	29,578 可	0.50	0.00	
②	北口駅前広場・賑わい交流施設の整備	北口駅前広場と賑わい交流施設を整備し、交通結節点の利便性向上と駅前に新たな賑わいの拠点をつくる	北口駅前広場:工事発注・監理、補助金対応、JR・関係機関との調整 賑わい交流施設:工事発注・監理、開館準備	2,814,087 可	3.90	0.00	
③							
④							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	681013	事務事業名	中心市街地活性化事業			
担当部・課名	中心市街地整備部・中心市街地整備課	評価者(課長)	野村 正純	評価責任者(部長)	重岡 伸明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	700503	分野	7産業・観光	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	5中心市街地の賑わいの創出			補助・単独の別	補助
	推進施策	(3)魅力ある中心市街地の再生・充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	中心市街地の利用者	事業の目的(意図)	中心市街地活性化を、官民連携のもとで着実に実施していくとともに、民間による事業の掘り起こしを行い、その支援をしていく。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●賑わい交流施設から中心市街地に賑わいの創出を図る ●中心市街地活性化基本計画の検証、次期計画の検討を行う ●中心市街地活性化協議会や(株)まちあい徳山とともに民間事業を支援 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
中心市街地14箇所における歩行者等通行量		中心市街地14箇所における歩行者等通行量(H31目標28,800人/日)	人	目標値	28,000.0	28,000.0	28,400.0
				実績値	24,318.0	33,268.0	
				達成度(%)	86.9%	118.8%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	10,137	24,398	63,700	116,417	59,211
(予算額)	うち一財	千円	6,415	20,484	54,919	59,521	56,187
(決算額)	直接事業費	千円	56,850	19,993		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	12,102	14,066		銀座通り歩行者優先道路化整備工事実施のため	銀座通り歩行者優先道路化事業完了のため
	正職員人件費	千円	16,119	19,157			
	人工数	人	2.20	2.60			
	支出コスト	千円	決) 72,969	決) 39,150			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	「周南市中心市街地活性化基本計画」は平成29年度で終了したが、中心市街地の活性化が引き続き重点課題であることは変わらない。平成30年2月の賑わい交流施設の開館を契機として、民間も活性化に向けて気運が更に上昇している。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 歩行者優先道路化については北口駅前広場の整備の進捗状況と合わせて整備を行うことが大切である。次期基本計画については、再開発事業と進捗状況を合わせる必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	平成29年度で終了した基本計画の検証を行い、次期計画についての検討を行う。今後もまちづくり関係者との連絡協議、地元調整等を密に行い、事業の熟度に合わせた支援を行うなど公民連携での活性化を図っていく。		評価責任者コメント	中心市街地活性化基本計画は終了したが、引き続き中心市街地の活性化に公民が連携して取り組んでいくことが重要である。次期計画については、検証と検討を充分に行う必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
銀座通り歩行者優先道路化整備工事において、地下道閉鎖に伴う躯体の撤去をやめ、コンビナート電力の送電線の点検通路として利活用することとし、工事費を削減した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	中心市街地の賑わい創出	賑わい交流施設への来館者を中心市街地にも回遊させ、賑わいの創出を図る	実験的なイベント等の開催、中心市街地で活動する人材や団体の発掘・育成	11,759 可	0.80	0.00	
②	中心市街地活性化基本計画の進捗管理及び検証	中心市街地活性化基本計画掲載事業の進捗管理及び数値目標について継続管理するとともに、計画最終年としてその検証を行う	通行量等調査、中心市街地活性化協議会との調整、第1期計画の検証	5,616 可	0.70	0.00	
③	民間事業の支援	中心市街地活性化に資する民間事業を支援し、まちの活性化を図る	タウンマネジメント人材やアメニティ整備に対する補助、地元再開発等への対応、各種事例調査、他団体や事業者の情報収集	2,618 可	1.10	0.00	
④							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	681015	事務事業名	中心市街地施設整備一般事務費			
担当部・課名	中心市街地整備部・中心市街地整備課	評価者(課長)	野村 正純	評価責任者(部長)	重岡 伸明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	900204	分野	9行政経営	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2将来を見据えた行政経営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)その他			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	徳山駅周辺	事業の目的(意図)	徳山駅周辺整備を推進し、中心市街地の活性化に資する。徳山駅南北自由通路等の管理により、駅周辺利用者の利便性向上が図られる。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ●徳山駅周辺整備を推進する環境の整備 ●徳山駅南北自由通路の維持管理 		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
利用者数	駅南口利用者	人/日	目標値	7,000.0	7,000.0	7,000.0	
			実績値	6,843.0	6,424.0		
			達成度(%)	97.8%	91.8%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	25,269	24,192	22,910	23,734	23,734
(予算額)	うち一財	千円	20,283	19,388	16,122	18,429	18,429
直接事業費	千円	23,519	24,623		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	18,271	17,708			
正職員人件費	千円	5,862	16,210				
人工数	人	0.80	2.20				
支出コスト	千円	決) 29,381	決) 40,833				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H19:南口エスカレーター棟の先行整備、維持管理業務開始 H22:JRと基本協定、工事協定を締結 H23~H26:南北自由通路及び橋上駅舎化工事 H26.9~:南北自由通路開通に伴い、通路全体の維持管理業務開始	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 利用者の安心と安全が確保できるよう、条例に基づいた適正な維持管理に努めていく。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 南北自由通路は、市の玄関口である徳山駅に直結しており、利用者の安心・安全を確保しながら適切な維持管理を行うことが重要であり、目標は達成できていると考えるため。
	事務事業の方向性	南北自由通路は、バリアフリー化の一環であり、市の責務として、維持管理の必要がある。また、南北の賑わい創出に大きく寄与する。	評価責任者コメント	南北自由通路は、鉄道で分断された南北の市街地の一体化を図る施設である。利用者の安全・安心を確保しつつ、利用者目線に立った適切な維持管理を行うことが必要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
施設の維持管理費については、利用者の安心安全を確保しながら、必要最小限を計上した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	徳山駅南北自由通路の維持管理	徳山駅南北自由通路の維持管理	各種事務契約、使用許可等	24,623 可	0.80		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	681018	事務事業名	コンビナート電力活用推進事業			
担当部・課名	中心市街地整備部・中心市街地整備課	評価者(課長)	野村 正純	評価責任者(部長)	重岡 伸明	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	700503	分野	7産業・観光	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5中心市街地の賑わいの創出			補助・単独の別	補助
	推進施策	(3)魅力ある中心市街地の再生・充実			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	中心市街地	事業の目的(意図)	「周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、コンビナートと市街地が隣接しているまちの特性と、コンビナート自家発電施設の電力有効活用を通じ、中心市街地へ「ひと」と「しごと」を呼び込む。
事業の内容(手段)	●コンビナートが生み出す電力を中心市街地で利活用することにより、中心市街地の活性化を図る		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
中心市街地14箇所における歩行者等通行量		中心市街地14箇所における歩行者等通行量(H31目標28,800人/日)	人	28年度	28,000.0	28,000.0	28,400.0
				29年度	24,318.0	33,268.0	
				30年度	86.9%	118.8%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	300,000	340,097	8,096	0	0
(予算額)	うち一財	千円	15,000	7,716	1,660	0	0
直接事業費	千円	11,000	507,328		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	1,067	20,394	事業廃止のため、中心市街地施設整備一般事務費へ組替		
正職員人件費	千円	5,862	7,368				
人工数	人	0.80	1.00				
支出コスト	千円	決) 16,862	決) 514,696				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H28.2: 本事業を推進するため、電力供給者である(株)トクヤマと利用者である本市とで周南市地域エネルギー利活用組合を設立 H28.2:(株)トクヤマとの連携に関する共同声明を公表 H30.3: 市役所新庁舎に電力送電開始	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 平成30年10月に賑わい交流施設及び北口駅前広場への電力供給ができるように確実に事業を進める。民間施設への供給について早期実現を図る。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	賑わい交流施設や新庁舎にコンビナート電力の供給を受け、行政コストの削減、災害時における防災拠点の機能確保、中心市街地への民間施設誘致等を図る。	評価責任者コメント	中心市街地に近いコンビナートから、安価で安定した電力を供給するための本工事が終了した。今後は、民間企業の誘致を図り、働く人を呼び込み、中心市街地の活性化につなげていく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
事業廃止のため、中心市街地施設整備一般事務費へ組替	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	送電設備の整備	まちの活性化を図るため、送電設備の整備を行う。	送電設備の整備	506,628 可	0.50	0.00	
②	コンビナート電力利活用制度の整備	まちの活性化を図るため、コンビナート電力利活用制度を整備する。	コンビナート電力利活用制度の整備	700 否	0.50	0.00	
③							
④							
⑤							